

## 東京海上グループ について

東京海上グループ概要	14
東京海上グループについて	16

# 東京海上グループ概要

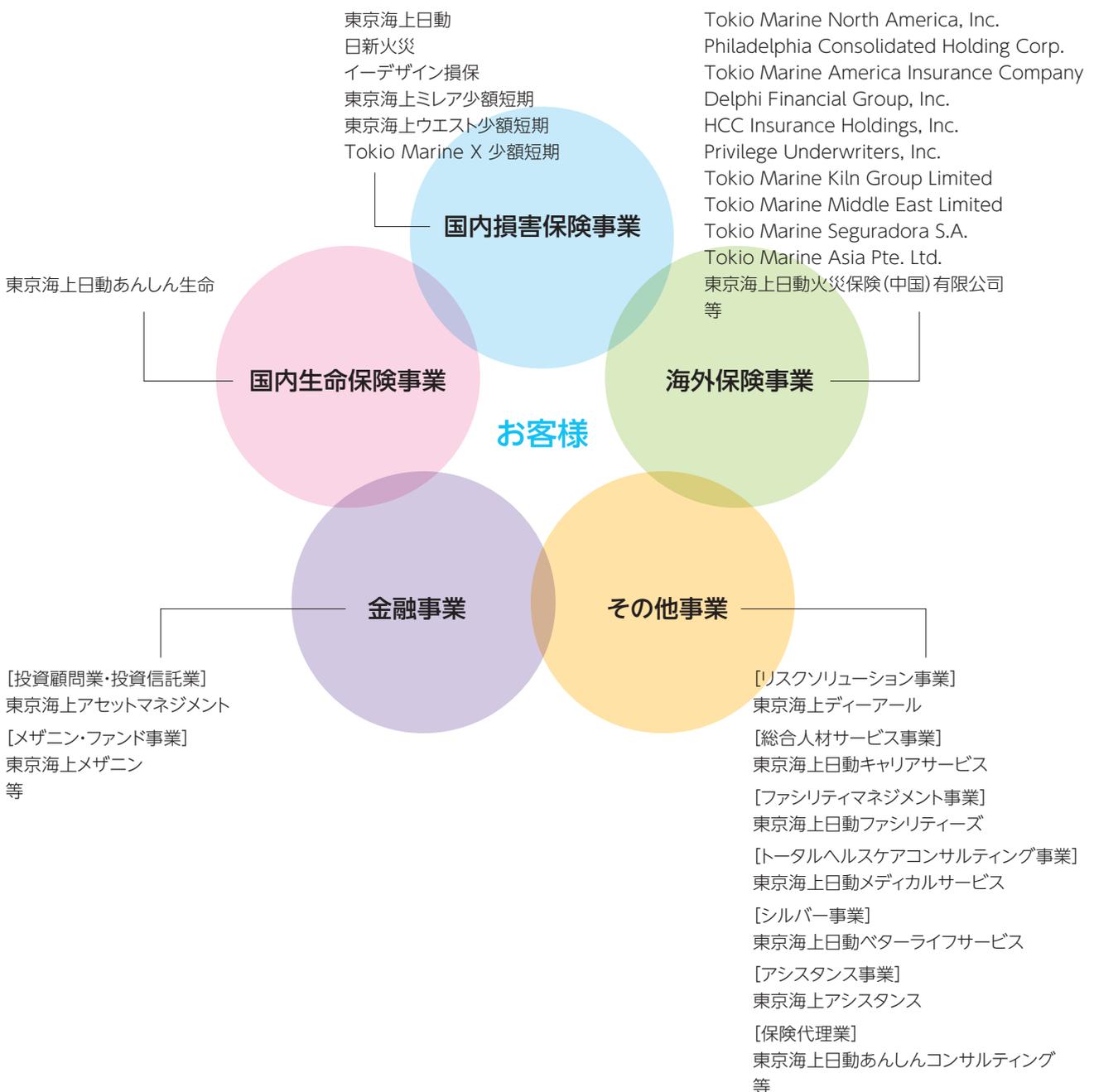
## 東京海上ホールディングスの業務内容

東京海上ホールディングスは、東京海上グループ全体の経営戦略・計画立案、グループ資本政策、グループ連結決算を担うとともに、コンプライアンス・内部監査・リスク管理等の基本方針を策定し、子会社等の経営管理を行っています。また、上場企業としてIR・広報および、サステナビリティ推進機能を備えています。

これにより、企業価値の最大化に向けて、中長期的なグループ戦略の立案と収益性・成長性の高い分野への戦略的な経営資源の配分を行い、グループ全体の事業の変革とグループ各社間のシナジー効果を追求します。

## 東京海上グループの事業領域と主なグループ会社

(2023年7月1日現在)



## 主な保険事業会社

### 国内損害保険事業

### Non-life Insurance Business

#### 東京海上日動火災保険株式会社

創業：1879年8月1日  
 資本金：1,019億円  
 正味収入保険料：2兆3,852億円  
 総資産：9兆4,271億円  
 従業員数：16,645名  
 本店所在地：東京都千代田区大手町2-6-4  
 常盤橋タワー  
 (2023年3月31日現在)



提供:三菱地所(株)

#### 日新火災海上保険株式会社

創業：1908年6月10日  
 資本金：203億円  
 正味収入保険料：1,450億円  
 総資産：3,665億円  
 従業員数：2,092名  
 本店所在地：東京都千代田区神田  
 駿河台2-3  
 (2023年3月31日現在)



### 国内生命保険事業

### Life Insurance Business

#### 東京海上日動あんしん生命保険株式会社

設立日：1996年8月6日  
 資本金：550億円  
 保険料等収入：8,127億円  
 総資産：8兆7,075億円  
 従業員数：2,625名  
 本社所在地：東京都千代田区大手町2-6-4  
 常盤橋タワー  
 (2023年3月31日現在)



提供:三菱地所(株)

### 海外保険事業

### Overseas Business

#### Philadelphia Consolidated Holding Corp.

創業：1962年  
 正味収入保険料：3,706百万米ドル  
 総資産：12,786百万米ドル  
 従業員数：1,858名  
 本社所在地：米国ペンシルバニア州  
 バラキンウィッド



#### Delphi Financial Group, Inc.

創業：1987年  
 保険料及び手数料収入：3,368百万米ドル  
 総資産：34,533百万米ドル  
 従業員数：3,011名  
 本社所在地：米国ニューヨーク州  
 ニューヨーク市



#### HCC Insurance Holdings, Inc.

創業：1974年  
 正味収入保険料：5,329百万米ドル  
 総資産：17,798百万米ドル  
 従業員数：3,787名  
 本社所在地：米国テキサス州ヒューストン



#### Privilege Underwriters, Inc.

創業：2006年  
 取扱保険料：1,966百万米ドル  
 総資産：974百万米ドル  
 従業員数：1,057名  
 本社所在地：米国ニューヨーク州ホワイト  
 プレーンズ市



#### Tokio Marine Kiln Group Limited

創業：1962年  
 正味収入保険料：881百万英ポンド  
 総資産：3,713百万英ポンド  
 従業員数：705名  
 本社所在地：英国ロンドン



### 海外ネットワーク

- ・海外拠点：46の国・地域
- ・駐在員数：302名
- ・現地スタッフ数：約35,000名
- ・クレームエージェント数：約250拠点(サブエージェントを含む)  
(2023年3月31日現在)

海外保険事業については、2022年12月31日現在 現地財務会計ベース。

# 東京海上グループについて

## 東京海上グループについて

東京海上グループは、「お客様の信頼をあらゆる活動の原点におく」という経営理念に基づき、収益性、成長性および健全性を兼ね備えた企業グループとしてさらに発展していくために、着実に企業価値の拡大を図っていきます。

## 東京海上グループ中期経営計画2023 ～成長への変革と挑戦～

2021年度から3カ年の「東京海上グループ中期経営計画2023 ～成長への変革と挑戦～」がスタートしています。当社は「お客様や地域社会の“いざ”をお守りする」というパーパスを起点に、事業活動と社会課題解決を循環させることで、当社の経済的価値と社会的価値、そしてその総和である企業価値を高め、グループの長期ビジョンである「世界のお客様に“あんしん”をお届けし、成長し続けるグローバル保険グループ」をめざしています。新中期経営計画では、長期ビジョンに向けて実現する姿として「ステークホルダーとのWin-Win」「グローバル×シナジー」「成長と安定的な高収益の実現」を定め、経営を支える基盤をベースに「2+1の成長戦略」に取り組みます。

### 1 中期経営計画の方向性

#### 長期ビジョン

世界のお客様に“あんしん”をお届けし、成長し続けるグローバル保険グループ  
～100年後もGood Companyをめざして～

長期ビジョンに向けて実現する姿

ステークホルダーとの  
[Win-Win]

「グローバル」×「シナジー」

成長と安定的な高収益の実現  
(中長期ターゲットとして、修正純利益  
5,000億円超・修正ROE12%程度)

2+1の成長戦略

#### 新しいマーケット × 新しいアプローチ

急激に変化するお客様のニーズに的確に対応し、  
マーケットに合わせた商品・サービス戦略、  
チャンネル戦略を展開していく

#### 保険本業の収益力強化

自然災害の激甚化、低金利といった課題認識の  
一方で、料率のハード化やデジタル活用フェーズ等の  
機会も活かし保険本業の収益力向上に取り組む



次の成長ステージに向けた事業投資

テクノロジー  
～ミッションドリブン～

経営を支える基盤

ERM  
～リスクカルチャー～

#### 人材

専門性人材の育成  
グローバル人材・経営人材の育成  
ダイバーシティ&インクルージョン

#### グループ体経営

ベストプラクティスの共有  
シナジーを発揮する体制  
グローバル経営態勢の構築

#### 企業文化

To Be a Good Company  
社会／お客様課題の解決  
“しなやか”で“たくましい”

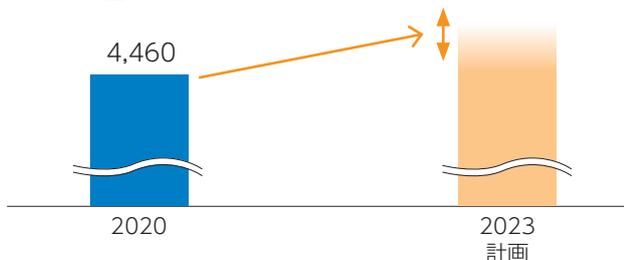
## 2 中期経営計画の業績指標

### 1. グループ全体の目標 CAGR=年平均成長率

#### 修正純利益

計画 CAGR 3～7%

(単位：億円) ■ 補正ベース\*1

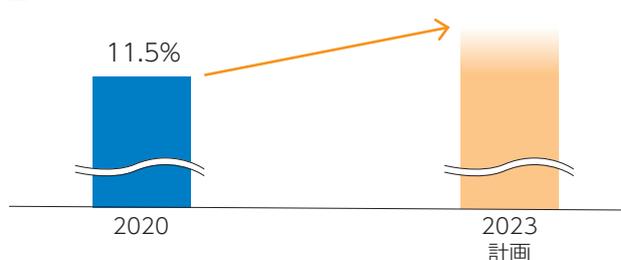


\*1 自然災害は平年に補正し、新型コロナウイルスや為替変動の影響を控除した補正ベース

#### 修正ROE

計画 12%程度

■ 補正ベース\*1



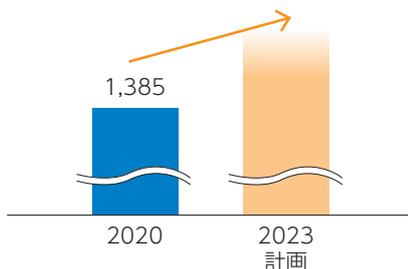
### 2. 各事業の利益目標 CAGR=年平均成長率

#### 国内損保事業(東京海上日動)

##### 事業別利益

計画 CAGR +6%以上

(単位：億円) ■ 補正ベース\*1



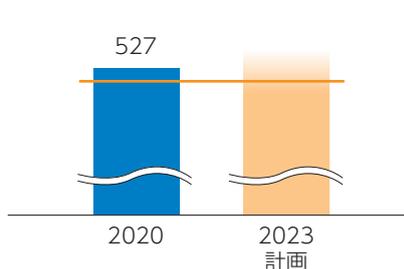
\*1 自然災害は平年に補正し、新型コロナウイルスの影響を控除

#### 国内生保事業(あんしん生命)

##### 事業別利益\*2

計画 安定的に500億円レベルを確保

(単位：億円)



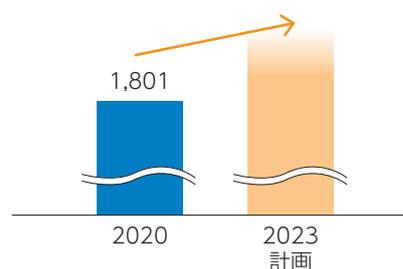
\*2 2021年度より当期純利益をベースとした指標に改定

#### 海外保険事業

##### 事業別利益

計画 CAGR +9%程度

(単位：億円) ■ 補正ベース\*3



\*3 自然災害は平年に補正し、新型コロナウイルスや為替変動の影響を控除

### 経営指標の定義

#### グループ全体の指標

利益およびROEについては、「修正純利益」および「修正ROE」を用いており、具体的には次の方法で算出いたします。

##### ■ 修正純利益\*1

連結当期純利益\*2+異常危険準備金繰入額\*3  
 + 危険準備金繰入額\*3+価格変動準備金繰入額\*3  
 + 自然災害責任準備金\*4繰入額\*3+初年度収支残の影響額  
 - ALM\*5債券・金利スワップ取引に関する売却・評価損益  
 + のれん・その他無形固定資産償却額  
 - 事業投資に係る株式・固定資産に関する売却損益・評価損  
 - その他特別損益・評価性引当等

##### ■ 修正純資産\*1

連結純資産+異常危険準備金+危険準備金+価格変動準備金  
 + 自然災害責任準備金\*4+初年度収支残  
 - のれん・その他無形固定資産

##### ■ 修正ROE=修正純利益÷修正純資産(平均残高ベース)

※1 各調整額は税引後

※2 連結財務諸表上の「親会社株主に帰属する当期純利益」

※3 戻入の場合はマイナス

※4 大規模自然災害リスクに対応した火災保険の未経過保険料

※5 ALM=資産・負債総合管理。ALMの負債時価変動見合いとして除外

#### 事業別の利益指標(事業別利益)\*1

各事業の利益には「事業別利益」を用いており次の方法で算出いたします。

##### (1) 損害保険事業

当期純利益+異常危険準備金等繰入額\*2  
 + 価格変動準備金繰入額\*2  
 + 自然災害責任準備金\*3繰入額\*2+初年度収支残の影響額  
 - ALM\*4債券・金利スワップ取引に関する売却・評価損益  
 - 政策株式・事業投資に係る株式・固定資産に関する売却損益・評価損  
 - その他特別損益・評価性引当等

##### (2) 生命保険事業\*5

当期純利益+異常危険準備金等繰入額\*2  
 + 価格変動準備金繰入額\*2  
 - ALM\*4債券・金利スワップ取引に関する売却・評価損益  
 - 政策株式・事業投資に係る株式・固定資産に関する売却損益・評価損  
 - その他特別損益・評価性引当等

##### (3) その他の事業

財務会計上の当期純利益

※1 各調整額は税引後

※2 戻入の場合はマイナス

※3 大規模自然災害リスクに対応した火災保険の未経過保険料

※4 ALM=資産・負債総合管理。ALMの負債時価変動見合いとして除外

※5 海外生保事業は「その他の事業」の基準により算出する。

